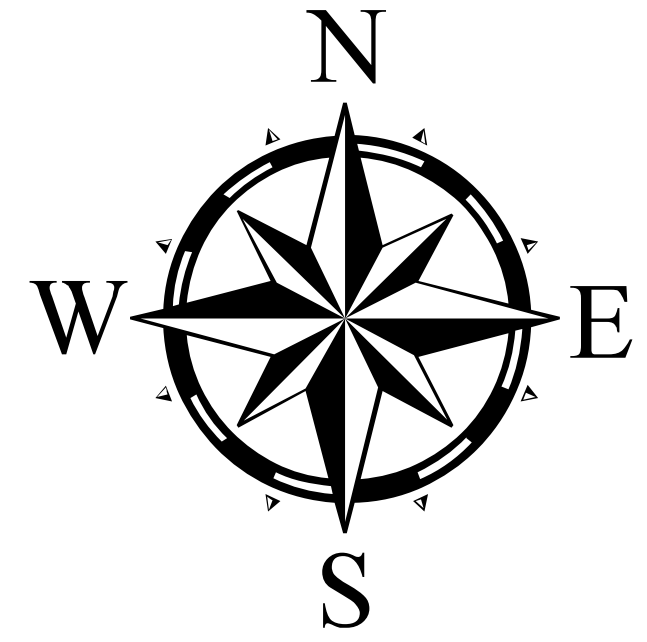
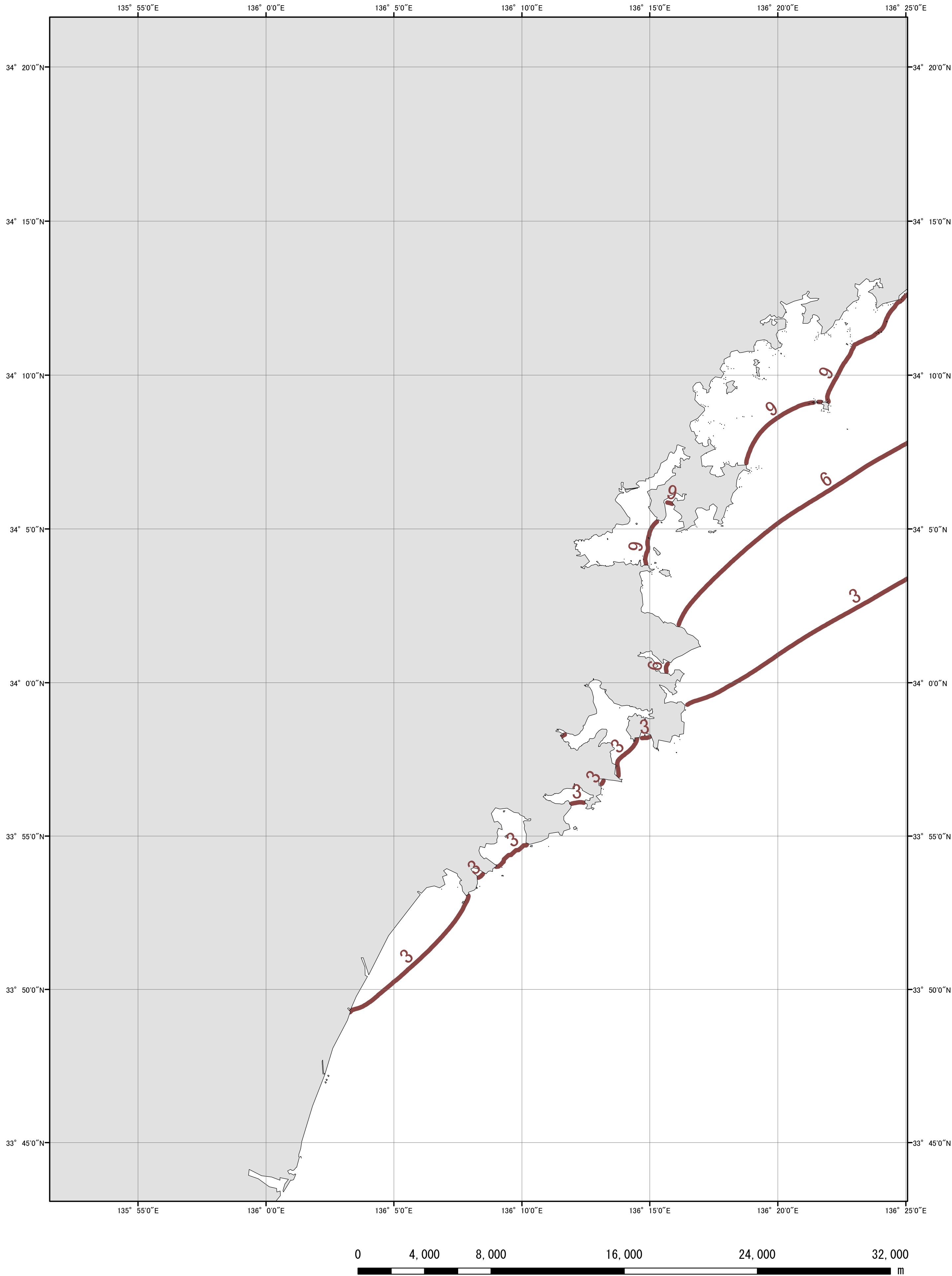


東紀州広域 津波到達時間マップ

計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 99cm(-151cm ~ 536cm)
 Zo：1.1m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

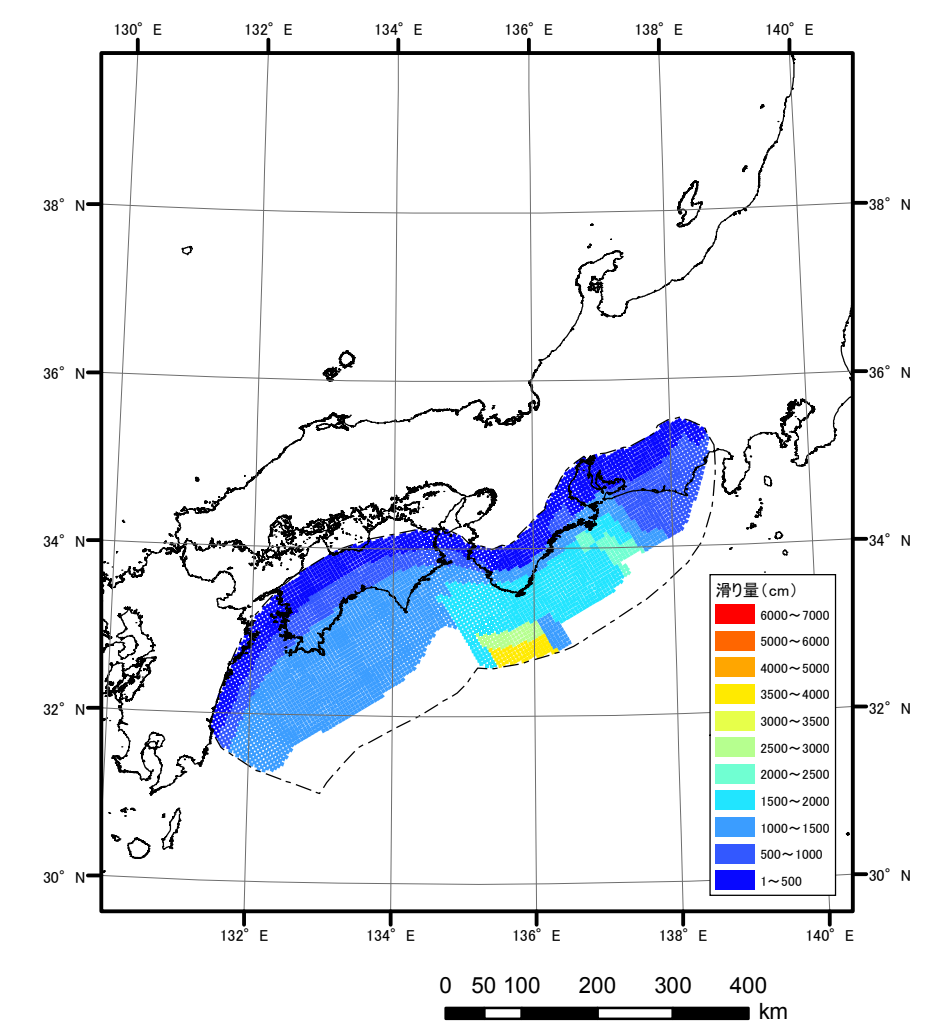


座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

断層モデル



ケース⑦「紀伊半島沖に『大すべり域+（超大すべり域、分岐断層）』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	5.3 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

第四管区海上保安本部

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)
 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)